		. (
大山下子に放方之		また事業▼医療認備整備事業	から、児童・生徒にとって安全地震の発生か予想されること	できる市営住宅の管理を行っ的整備に穿め、安心して生活
		携などについて検討していく。	れたりの高い確率で宮城県沖	住宅の改修などの計
へのご支援に深謝いたします。	中改革プラン実施初年度で	性や改善目標、本院・分院の連	■小・中学校の施設整備 今後	した
面崩落災害復旧と鬼首地区民して、「追伸」鳴子温泉大畑地内の法し	ДХ	早急に立ち上げ、今後の方向	ンターの整備を推進していく。	■市営住宅 市民ニーズに対
+	手であり、 テ文女革大岡の め、10またま 正様11の	大崎市民病院改新検討会議」を	を図る拠点として児童交流セ	線改良事業ほか十五路線など。
おりとう頁いヨノニザミナ。	ち、さまざまな十回封五つたるナ解市総合言画をにし	係者などで構成する「(仮称)	子どもたちの心身の健全育成	主な事業▼市道百々北小牛田
		である市長部局と市民病院関		木肖 () 江井一 () 、 ち
感てきる「大崎市」を創るた	てた合	努めていく。さらに、設置者	化・総合施設」として三本木地	
「合併してよかった」と実	-	早い病院建設の実現こ向けて は喜の見通しを立て 一日*	各重の支援を守う「幼呆一元	を皆まえ、市首などが国・県首臣で、王二の雇しい貝西北ジ
市民皆さんが近い将来	れ	女善り見通 ノビ立て、一日らた経営傾全仙枝評会講で経営	■子ともか日素偏事業 たく	図)、見下り後シュオ女犬兄斜の霊偏に 弓き約き塞備を
いく所存です。	や人材育成の推進も期待	■ お防事業 防内に立ち上げ	■キビのが丘を晴耳をした、上支援事業を実施していく	
制で政策推進に取り組んで		■見見き 花引にたらにげ	二文爰写堂 いぼ 回し いいのう して 受 見 定 ううしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう し	ごに国軍官会
人事交流を進め、新しい体	の連携協力協定も結ばれ、		L = ぼいうおおさきをJ 可向上などを図るため。平成十	
自動車をはじめ多方面との		王公事美国二く首臣之を請請	■学校教育の児童生徒の学力	メ ノ る 日
組織機構の見直しと、関東			■全交女育 見重三臣つをコーンし、悪催促進を図っていく	
革を前進させるため、市の	委員会も設立され、大崎市	3.十面と夏三く、安全、安全、安全、安全、安全、安全、安全、安全、安全、安全、安全、安全、安全、	>、 警備已生 1977 1978 1978 1978 1978 1978 1978 1978	/ヨ/千7/ペー/こ可け、二十年 厚催の ランラ・ネー
の思い描くまちづくりと改	くり協議会や、地域づくり	立	いっ方丁寸型を方を成こないでに、田戸地域で実施し	二一三 肩崔 つご へニ イ ニ源を有機的に新て付け、平尻
意を新たにしています。私	してま	▲水道事業 ~後の水道事業	コニは、日記也戊二三面 / を図る。 浄化構要備事業に	夏三重幾句に告が甘け、云乾夏三重幾句に告が甘水の豊富な観光牧園資
革をぜひ成功させたいと決		■く宣言を介受しく宣言を	● 二曹 冬 青 季 冬 こ し 同 刀 の 持 刀 悪 術 保	は身地域を隠しめとする温泉
て二兎を得る」大崎市流改	富な資源や宝を再発見し、	主な事業 「岩出山文什会館ご」	寄休事業の三事業を進入し	温泉也伐至は沙ら 二 っ 温泉
	や一体感の醸成に努め、豊		と前耳笑の三耳笑に算いい。	見と勿至こうっては、鳥へたコ第批興労に耳ど糸す
の精神に学び、産業振興と	年でありましたが、統一性	諸四の 扨 尹を図れ 一 写置して	- えいます。 クリンヨーネークエー	に亡差辰現寛こ文)且い。
私は、上杉鷹山公の改革	合併直後の慌ただしい一	構 密の 広 を 図り、 実 美 して		渇車雀雀への反各広大こうす
く大切な年となります。	力に厚くお礼申し上げます	ライフステージに応じた学習		企業の技術力の句上と自動車
誤りのない道筋を描いてい		した学習メニューを再構築し、	主な事業▼李埣飯川線改良事	1
す。大崎市の未来に向けて		するため、地域の特性を活か	向け、事業推進に努めていく。	-///
一。 に新方) ミミニリトニーク 見政改革元年」の年て] — ` 年	で生きがいのある生活を実現	業については、早期の供用に	ては、関東
日た一日七一くに一日に		■生涯学習 心身ともに豊か	実績を伸ばしている。街路事	化に向け支援していく。
よったらう	市が延主 へ	舎整備事業など。	るい兆しが見え始め、順調に	を促進するなど、商店街活性
す。つまり、今年度は実質	乍手三月三十一日こ大奇	主な事業▼古川第一小学校校	川南地区では保留地販売に明	店舗の活用
唐 年 を 遅 え て	ノ協 甫 該		り三地区で実施中である。古	留 工 会 商 店 会 T M
町 ド お 申 え に		て言画的	理事業に 現在 維合旅行によ	の倉出を図る
		優労度を考慮し 大規模改修	世事業	+3
	•			ら イベノー
	て ん	寝台り 4 隼 5 つ 5 c 、 怒 息 髪 らう 4 隼 5 つ 6 隼 5 つ 5 c 。 耐	まな事業▼古川西荒井住宅建	月 テ ゥ 瓦 ラ 、 業振興につい
		で安心できる環境を確保する	ていく。	■商工業と観光物産の振興
事業など。		者緊急通報システム事業など。	援法が昨年四月に施行され一	よう、人的支援・財政支援を
地・水・農村環境保全向上対策	進めていく。また、「	サービス、ひとりぐらし高齢	■障害者福祉 障害者自立支	した「市民協働」が推進される
主な事業▼土地改良事業、農	1PJ	主な事業▼高齢者外出支援	の策定に向け準備を進める。	のもと、地域力の向上を目指
意取り組んでいく。	実現するため、本市の健康増	を図る。		力していく。また、役割分担
	后の質の向	できるよう高齢者福祉の充実	立生活を支援するという観点	し合い、対等の立場で連携協
各農家の協力を得ながら、関	が進行する中、	がら、地域で生活することが	の共通の理念やそれぞれの自	れぞれの存在意義を理解・尊重
業者などの担い手を育成し、	■ 健 庫	要な介護サービスを利用しな	祉、障害者福祉、児童福祉など	りや各種団体、企業、行政がそ
上対策」の推進に向け、認定農		がら自立した生活を送り、必	会福祉法に基づき、高齢者福	民協働の推進 市民一人ひと
進対策」「農地・水・環境保全向	~	なれた環境で健康を維持しな	■「地域福祉計画」の策定社	■地域自治組織の強化および市
経営安定対策」「米政策改革推		計画に基づき、高齢者が住み	事業など。	カポンプ付積載車整備など。
等大綱」に基づく「品目横断的		高齢者保健福祉・介護保険事業	主な事業▼交通安全施設整備	主な事業▼防火水槽、小型動
ら始まる「経営	`	を計画期間とする、第三	制の充実・強化に努めていく。	制定を目指している。
■ 農林業振興 平成十九年度	転を予定しているが、内装工	業 平成十八年度から二十年	地域ぐるみで交通安全・防犯体	終協議の段階を迎え、四月の堅証して登録していました。
がら支援していく。	町の「リオーネふるかわ」に移	■高齢者福祉および介護保険事目月間またと	り、犯罪や事牧の未然防止等、「そそ」これが意識相多し。	「目目伯讀言回」子。て一封如
周系幾関 ・ 団本な ビト 重携しな	- トセンターは、古	助戎事業など。	で 子ること いう 意識 啓発 に よ	「国民呆蒦計画」および一也或一

特集:平成 19 年度予算

事業だどう。	して子育てができるまちづく		爰去が乍手四手こ施テキュー	よう、人内支爰・材女支爰を
地・水・農村環境保全向上対策	りを進めていく。また、「安心	サービス、ひとりぐらし高齢	■障害者福祉 障害者自立支	した「市民協働」が推進される
主な事業▼土地改良事業、農	進計画策定に向けた体制づく	主な事業▼高齢者外出支援	の策定に向け準備を進める。	のもと、地域力の向上を目指
意取り組んでいく。	実現するため、本市の健康増	を図る。		
係団体などと連携を図り、鋭	命の延伸や生活の質の向上を	できるよう高齢者福祉の充実	立生活を支援するという観点	し合い、対等の立場で連携協
各農家の協力を得ながら、関	が進行する中、市民の健康寿	がら、地域で生活することが	の共通の理念やそれぞれの自	れぞれの存在意義を理解・尊重
業者などの担い手を育成し、	■健康づくり 少子高齢社会	要な介護サービスを利用しな	祉、障害者福祉、児童福祉など	りや各種団体、企業、行政がそ
上対策」の推進に向け、認定農	ンター事業など。	がら自立した生活を送り、必	会福祉法に基づき、高齢者福	民協働の推進 市民一人ひと
進対策」「農地・水・環境保全向	主な事業▼地域子育て支援セ	なれた環境で健康を維持しな	■「地域福祉計画」の策定社	■地域自治組織の強化および市
経営安定対策」「米政策改革推	を展開していく。	計画に基づき、高齢者が住み		カポンプ付積載車整備など。
等大綱」に基づく「品目横断的	市役所本庁舎内を拠点に事業	高齢者保健福祉・介護保険事業	主な事業▼交通安全施設整備	主な事業▼防火水槽、小型動
から始まる「経営所得安定対策	事などが必要なため、当面は	度を計画期間とする、第三期	制の充実・強化に努めていく。	制定を目指している。
■農林業振興 平成十九年度	転を予定しているが、内装工	業 平成十八年度から二十年	地域ぐるみで交通安全・防犯体	終協議の段階を迎え、四月の
がら支援していく。	町の「リオーネふるかわ」に移	■高齢者福祉および介護保険事	り、犯罪や事故の未然防止等、	防災計画」の策定は、県との最
関係機関・団体などと連携しな	サポートセンターは、古川台	助成事業など。	で守る」という意識啓発によ	「国民保護計画」および「地域
のブランド確立を図るため、	て支援センターとファミリー	主な事業▼福祉タクシー利用	の高揚と「地域の安全は地域	■危機管理および消防防災
ド確立 地産地消と地場産品	園」の本園化に伴う、古川子育	独自の支援策を実施していく。	などが連携協働し、安全意識	を進めている。
■地産地消と地場産品ブラン	られる。「古川東保育所南町分	に対してはこれまで同様、本市	政、交通・防犯関係機関、団体	プランも同時に並行して作業
各種予防接種など。	により三十人の定員拡大が図	らの緩和策に該当しなかった人	づくりの実現のため、市民、行	的な取り組みを示す集中改革
主な事業▼救急医療確保対策、	保育園」では、既存施設の改修	どを四月から実施する。これ	安全で安心して暮らせるまち	的な作業を進めている。具体
組んでいく。	設されるほか、「古川ももの木	に係る利用者負担の軽減策な	■市民の安全・安心な暮らし	変えること」をテーマに、最終
子21行動計画」の策定にも取り	保育園」が認可保育園として新	所施設利用者の送迎サービス	当)の配置など。	「行政改革とは仕事の仕方を
実施計画として、「すこやか親	園」と認可外保育園「わんぱく	減や施設に対する補てん、通	政策専門員(地域自治組織担	■行政改革および事務改善
子保健分野における具体的な	の保育所整備は、「鴻ノ巣保育	一環として、利用者負担の軽	などへの活動補助金の交付、	議会に提案したい。
次世代育成支援行動計画」の母	\heartsuit	正の激変緩和措	主な事業▼まちづくり協議会	議会の答申後、九月を目標に
り」を基本理念とする「大崎市	■児童福祉 待機児童の解消	年が経過した。国では、今般	行っていく。	■総合計画策定 総合計画審



平 成 19年 度 の主 立な事業

施政方針より

抜粋

「本年はまちづくりの指針 となる総合計画をはじめ、 さまざまな計画樹立の年。 平成 19 年度は実質的な大 崎市まちづくり元年、行政

平成 19 年第 1 回定例会 が開かれた初日に、市長が 述べた本年度の施政方針。

本年度は大崎市の未来に 向けて道筋を描く、礎を築 くための重要な年度として 位置付けています。

広報 おおてき 2007-4 4